

一般質問より

★犬猫の殺処分ゼロに  
—飼いやみにも避妊補助を



ポランティア頼みで良い?!  
県は「人と動物が共生できる豊かな社会」の実現に向けて、行動指針を定めています。県内35市町村中、すでに25が何らかの避妊手術代補助を開始。13自治体は地域猫・飼い猫とも対象にし、14自治体は飼い犬も対象にしています。ところが、伊勢崎市はポランティア団体の補助頼みで、「地域の団体と話し合っている」といいながら、市としての助成はゼロのままです。環境問題の一端として、早急な対応を求めました。

県内補助の状況 ※口は飼い犬も (14)	
地域猫	県、藤岡市、甘楽町、板倉町
飼い猫 (9自治体)	吉岡町、長野原町、高山村、東吾妻町、みなかみ町、太田市、邑楽町、千代田町、昭和町
地域猫 飼い猫 (13自治体)	前橋市、高崎市、渋川市、安中市、富岡市、沼田市、中之条町、玉村町、嬭恋村、みどり市、館林市、大泉町、草津町

★おくやみ相談窓口もっと改善を  
—還付金の手続きも一度の来所で



●市役所本庁舎1階のおくやみ相談窓口の利用は予約制です。(電話 27-2729)

助かるけれど後日の手続きが必要になることも  
「おくやみ相談窓口」ができて3年経ちました。急な不幸の際に12種類の手続きの案内を一つの窓口で行い、わかりやすい冊子も配布し、銀行や保険の手続きも手伝ってくれるこの窓口は、市民に好評です。

下水道計画6割に縮小  
合併処理浄化槽への転換に具体策示さず

伊勢崎市は下水道処理人口率も汚水処理人口普及率(下表)も、全国や県の平均から見ると大変遅れています。市は汚水処理の割合を高めるために、下水道整備計画面積を6割に縮小し、残りを合併処理浄化槽に転換する計画に変更することにしました。市街化区域は下水道を整備しますが、家や人口が少ない区域では合併処理浄化槽による汚水処理を行うといっています。区画整理を盛んに進めながら、西部地域では安上がりだからと下水道を整備せずに事業を進めてきました。このつげが、今、出て来たわけです。

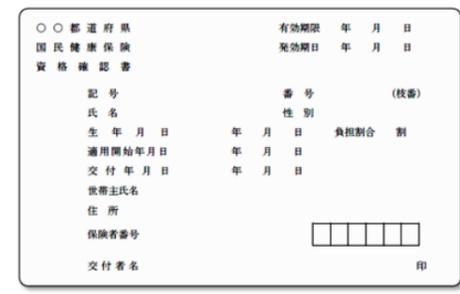
2023(令和5)年度末  
汚水処理人口普及率

前橋市	95.8%
桐生市	93.9%
渋川市	92.1%
太田市	90.4%
伊勢崎市	73.8%
群馬県平均	85.0%
全国平均	93.3%

せる側溝が無いと、浸透枳を作らなければなりません。浸透枳は目詰まりすると機能しなくなり、先々の管理が本当に大変です。計画転換のための新たな施策を示さないままでは、汚水処理についての責任放棄とも言えます。市長は「環境日本一のまち・いせさき」にするといっています。が、汚水処理が進まなくてはとてそんなことは言えません。

★マイナ保険証なしで大丈夫!  
—保険証と同内容の「資格確認書」を申請無しで送付します。

寄せられる心配の声  
「マイナ保険証を作らなくても大丈夫?」という心配の声が、市議団によく寄せられます。結論から言えば、全く心配ありません。



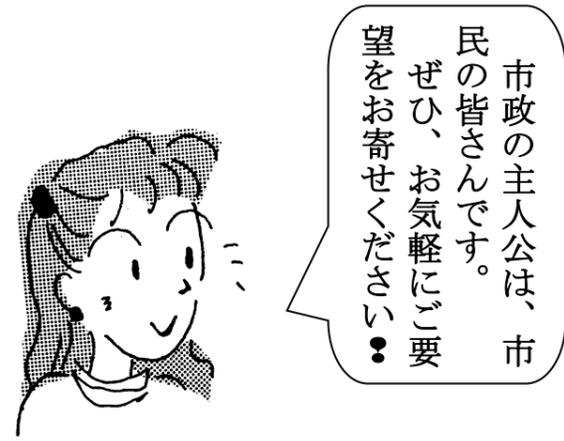
保険証と同じ仕様の「資格確認書」が送付されます(写真は厚労省提示のサンプル)

保険証が切れる前に資格確認書が送られます  
「強制はおかしい」という国民の批判の声がとぎれませんが、これを受け、どの保険でもマイナ保険証を作らなかつた人には保険証の有効期限が切れる前に、保険証そっくりの資格確認書が送られてくることになりました。

また、マイナ保険証は作っても障害や高齢で使えないなどの人も、保険者に申請すれば資格確認書を出してもらえます。市のホームページに一応の説明はありますが、大変分かりにくい表現です。「市民の不安に答えられる、わかりやすい広報を」と求めました。

しかし、医療や介護の還付手続きは出来ず、「終わったとホッとしているところに、次々還付手続きの案内が届いて、とても戸惑った」という声が寄せられました。

市民の声受け改善を模索  
質問でこの声を伝えたところ、一度の来所で還付も含めた手続きができないか、検討をしてみたいということになりました。



市政の主人公は、市民の皆さんです。ぜひ、お気軽にご要望をお寄せください!

♥もっと子育てしやすいまちにしましょう♥

●小学生も含めた給食費の無償化実現を

「前橋並みに連続実施を」と、引き続き声をあげましょう!!

●四ツ葉学園だけでなく全ての学校で

30人学級(せめて32人学級)、少人数授業を

四ツ葉学園は32人クラスで、英・国・数は10~15人授業でも、中学校の8割は31~35人の多人数学級のまま。県の35人以下学級実現で、少人数授業はなくなりました。「同じ公立学校なのに、差があり過ぎる?」の声も出ています。

●不登校対策の充実が急がれています

カウンセラーなどの増員で丁寧な対応を。フリースクール学費補助なども必要です。そもそも、楽しい学校づくりが肝心!